

令和4年度

vol.6

看護しずおか



河津桜…春がきた

特集1

地域住民のため 看護職のための
地区支部活動

特集2

～学び・育み・継ぐ～ 三職能活動

会員数

22,742名
(令和5年3月1日現在)

保健師 …… 515名 看護師 …… 20,717名
助産師 …… 892名 准看護師 …… 618名

予定されている研修・行事等については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止あるいは変更することがありますので、ご了承をお願いいたします。ホームページでご確認ください。



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

<https://www.shizuoka-na.jp/>

【静岡県看護協会】
お気軽にご利用ください



令和4年度『特定行為研修指定医療機関意見交換会』が開催されました！

県内には、特定行為研修養成のための指定医療機関13施設・協力施設14施設があり、その内の指定医療機関10施設及び協力施設6施設の担当者28人が参加した。開催前調査からは、各施設が抱える課題として一番多かったのが「症例数の確保」、次に「研修者のフォローアップ」「指導者の確保」「医師の協力」等であった。当日の意見交換会では「症例数の確保」の課題に対して協力病院との連携強化の推進や修了者を増やすためには組織体制整備や管理者・医師の理解が必要と示唆された。また、特定行為研修修了者育成を看護の質向上として普及していくなど、様々な意見が出され活発なグループワークとなった。次年度への活動に繋げていきたい。



令和5年度静岡県「看護の日・看護週間」開催のお知らせ



テーマ：未来に繋げよう、看護の心

行程：令和5年5月8日(月)

- 9時30分 静岡県庁にて出発式
- 10時45分頃 静岡市内～静岡県看護協会
- 11時45分頃 中東遠総合医療センター
- 13時～15時 常葉大学附属菊川高等学校で
出前事業・看護の魅力発信(トーク)
等イベントを行います



写真は令和4年度の写真です

PRバスは静岡市内から中東遠・西部地域を走ります！

5月12日は
看護の日です



表現者 佐藤登美遺作展のお知らせ

2023年4月
13日(木) 12時～17時
14日(金)～17日(月) 10時～17時
18日(火) 10時～15時
■問合せ E-mail: isaku2023@gmail.com (遺作展実行委員)



第10代静岡県看護協会会長 佐藤登美氏の遺作展が開催されます。

ご家族の意向もあり、会員の皆様には訃報を控えておりました。今回、遺作展開催について皆様にお伝えさせていただきます。

「ギャラリーえざき」毎日江崎ビル2階 ☎054-255-2231

■静岡市葵区七間町8-20、静岡市役所裏の青葉通り沿い
■徒歩静岡駅から9分、バス市役所前から4分、有料駐車場使用

先人に聞く看護の道しるべ

看護の仕事をとおして見えたもの

急速に変化する時代の流れに乗って

私が保健師として再就職した1975年は、時代の大きな転換期で高度経済成長は頂点に達し、国際化の進展・医学の進歩・急速な高齢化・疾病構造の変化など「地域保健対策の再構築」が本格的に動き始めたタイミングであり、保健師の活動も大転換期を迎えておりました。

母子保健事業を中心としていた保健師活動も、時代の変化に伴って地域保健全体に係る活動へと移行していき、おのずと業務の内容は「集団指導による健康教育」が多くなりました。元来、大勢の前で話をするは何よりも苦手（個人や少人数での会話以外は発声できない状態）だった私のコミュニケーションの世界が広がったのは、この仕事に就いたお陰と感謝しています。「保健師とは、保健指導に従事することを業とする者をいう」なのですから「個人的に苦手だから…」は通用しないと覚悟を決め、スキルを身に付けるためのトレーニングにお金と時間を投資しました。同時に毎夜9時のTV「ニュースステーション」の女性キャスター小宮悦子さんのナレーションを、そのまま真似して声に出す。聞き取りやすい話のスピードや息継ぎのタイミングを盗み取りました。この方法は効果絶大しかも無料なのです。

1980年代に入る頃には、老人の社会的入院や寝たきり老人の増加が社会的問題として顕在化し、保健師の家庭訪問対象は「在宅寝たきり老人」が中心となりました。おのずと看護スキルと医療との連携が必要となり、静岡県看護協会地区支部での「看・看連携の推進事業」は大切な学びとネットワークの場になりました。



そして、1993年7月浜松市保健所健康増進課の部署内に念願の「直営の訪問看護ステーション開設」へと結実させることができました。

国が本格的に介護保険制度の検討に入った1994年4月、当時の天皇皇后両陛下のご視察を頂き、浜松市老人福祉センターで開催している健康増進機能訓練事業をご案内申し上げるという光栄にあずかりました。ご視察の中での優しい心温まる両陛下のお言葉は、機能訓練に参加している皆様にとって大きな励みとなり、私にとっても宝となりました。

感謝のことば

この度、50余年間の職業人生を振り返る機会をいただきました事に深く感謝申し上げます。

私の生まれた1947年の女性の平均余命は50歳でした。年を取るごとに余命も先に延びて行くおかげで長年にわたり看護に就くことができ、仕事を通じて身に起こる事すべてが生きる意味への気付かせでした。そして今回の4回シリーズの筆を執っている間に誕生日を迎え、めでたく後期高齢者の仲間入りを果たすことができました。これからも精いっぱい元気に機嫌よく生きて参ります。

末筆になりましたが、静岡県看護協会の益々のご発展と、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



ひろめ
齋藤一路女

地域住民のため 看護職のための 地区支部活動

地区支部活動の目的は、看護を通して保健・医療・福祉の向上に貢献し、地域住民の健康サポーターとして健康維持増進に寄与することです。会員の資質向上のための研修会や地域住民への啓発活動を行っています。

賀茂地区支部

支部長 稲葉 圭子

「災害看護地区研修」を経て地区防災訓練に25名の研修生が参加し、4カ所で約200人の地域住民に向けて家庭にあるものを利用して、災害時の応急処置を指導できました。「まちの保健室」I型・II型とも開催し、特にII型は大盛況でした。

「看護協会の活動を始めて知った」という住民の声もあり、今後も積極的に地域に出向き親しみやすい関係をつくる事で、様々な活動に取り組んでいかなければと思います。



熱海・伊東地区支部

支部長 齋藤 清江

コロナ禍も第7波・8波となりますと地区支部活動にも影響が生じています。

「まちの保健室」は公共の場での企画では中止せざるを得ない状況でした。

「災害看護地区研修」は国際医療福祉大学熱海病院のDMAT看護師3名に依頼し、昨年の熱海市内の災害では発災直後の活動を通じた実体験を含む講義の内容に身近な災害を痛感しました。研修は「認知症に備える」と題し講演会に協賛しました。次年度は、地域連携の活動に取り組みたいと考えます。



東部地区支部

支部長 横山 直司

コロナ感染症に伴い、皆様のご苦労は計り知れない事と存じます。地区支部活動も制限の中、出来るだけ皆様のお役に立てよう活動しました。役員会は感染対策を考慮して、Zoom併用のハイブリッド形式で行いました。「まちの保健室」は、II型は全て中止となりましたが、I型は4回実施致しました。「災害看護地区研修」では、人数制限(20名)をさせて頂き実施できました。看護研究発表会は、8題の発表と看護学生の方々のご参加を頂きました。今年度新たに「看看連携」として、病院看護師と訪問看護師での情報交換会を開催する事ができました。最後に、県協会が実施した「看護の日」への参加と「メディメッセ」に富士地区支部と共同参加致しました。来年度も皆様方の力をお借りし、より良い地域活動を展開していく所存です。



富士地区支部

支部長 佐野 真澄

新型コロナウイルス感染症の状況をみながらの活動でした。「災害看護地区研修」は、3年ぶりに開催でき、災害に関する知識やトリアージについて学び、地域住民への応急処置の指導を行うことができました。災害支援ナースの登録に繋がることを期待しています。

訪問看護ステーション協議会との情報共有が始まり、地域包括ケアを支える看護機能連携体制の強化に向け、可能な所から取り組んでいきたいと考えています。





静岡地区支部

支部長 佐野 和枝

2022静岡地区支部事業計画に基づき活動を行っています。2022年度はコロナ禍でもできることを模索し活動を広げてきました。継続的に活動できることを進めつつ、新たに訪問看護ステーションとの連携を行いました。今後も患者を中心に、違う職場で働きながら連携を取り活動していきたいと思います。2023年1月に、2020年度から計画していた救護所への災害ボランティアナース育成研修を行う予定です。地域住民へ看護支援ができることを考え進めていきたいと考えています。



志太榛原地区支部

副支部長 山梨 美鈴

今年度も、新型コロナウイルス感染症の動向をうかがいながらの活動になりました。7月まで予定通り「まちの保健室」Ⅰ型・Ⅱ型「災害看護地区研修」を開催できました。昨年度に地域防災訓練に参加できなかった研修生を含め、今年度は全員が参加できたことは、災害支援ナースの登録につなげることができたと思います。しかし、7月中旬より感染者数が増加し、8月～10月の開催が中止になりました。次年度も地域住民や地域の看護職のために、地区支部活動を行いたいと思います。



中東遠地区支部

支部長 大庭 富美子

今年度もコロナの影響を想定し、コロナ禍でも活動できるように計画をおこない「まちの保健室」「市民講演会」「災害看護地区研修」を開催しました。地域住民への活動は2年ぶりとなりましたが、まちの保健室では「口腔疾患が再燃し受診を迷っている」との相談に、同行していた歯科衛生士が関わり受診行動につなげることができました。多職種で地域へ出向くことの意義や喜びを改めて実感することが出来ました。今後も地域の人々との交流を大切に、地区支部活動が健康で暮らすための一助となっていけたらと思っています。



西部地区支部

支部長 小林 ルミ

今年度コロナ禍により「災害看護地区研修」「認知症看護」「高次脳機能障害患者看護」「ACP」「摂食嚥下障害患者看護」は、開催日と方法を変更して実施しました。「まちの保健室」と「看護教室」は高齢者福祉センターで13回、「出前授業」は6校、「救護」は18回実施しました。「まちの保健室」は、訪問看護ステーション協議会の方と協働して「サンストリート浜北」で実施しました。広報等に課題はありますが、高齢者に限らず広く市民の方の健康相談を受けることができていると考えています。今後も役員みんなで楽しく活動します。



保健師・助産師・看護師の三職能がそれぞれの専門性を深め、多職種と連携・協働しながら活動を展開しています。令和4年度の重点活動や課題について報告します。

保健師職能委員会

委員長 土屋 厚子

保健師職能委員会は、行政（県・市・政令市）・産業保健・健診機関から選出された7名の委員で活動しています。

令和4年度の活動目標

1. 地域包括ケアシステム推進に向けた保健師の資質の向上
2. 異なる職場環境で働く保健師間の交流
3. 三職能で情報交換・情報共有し、地域・在宅で生活する人達を災害時に支援する方法を見出す
4. 会員の拡大の推進

令和4年度の研修会は、感染予防対策に心掛けてオンラインで実施しました。令和4年7月には、初めて「異なる職場環境で働く保健師間の交流」を目的に「ここでしか聞けない保健師の仕事」をテーマに保健師交流会を開催しました。また「コロナ時代の保健活動」の研修も併せて実施しました。令和5年1月には、研修会「糖尿病性腎症の予防～病院と地域・保険者との連携～」として糖尿病対策の実践を学びました。委員会では、コロナワクチンや感染者の対応などの情報交換を行っています。今後は、12月に実施した保健師のアンケート調査結果をまとめ、各研修会や交流会に活かしていきたいと思っています。



1/27 保健師研修会 ▲

助産師職能委員会

委員長 西郷 美智子

助産師職能委員会は7名の助産師で活動しています。すべての妊産褥婦・新生児、およびあらゆるライフステージの女性に助産師のケアを提供するために、専門的技術を高め、より質の高いサービスを提供することを目的に事業展開をしてきました。

6月に実践能力強化研修として、静岡県立大学看護学部看護学研究科 太田尚子教授から周産期領域での倫理的課題について講義をいただきました。倫理的課題に取り組む助産師の心構えや持つべき資質、課題解決の取り組みを具体的な事例から学ぶことができました。

10月には、三職能合同交流会「BCP 災害時の危機的管理について」をテーマに開催しました。BCPの基礎的知識を得ることができ、他施設の災害時の取り組みについて共有し、自施設での防災についての課題が明らかになりました。

12月は、助産師交流会をおこない、順天堂大学医学部附属静岡病院産婦人科先任准教授 田中利隆医師をお招きし「周産期における急変時の対応」についてご講義いただきました。最新のガイドラインや産科出血の基礎知識を学ぶことができました。同月、産科管理者交流会を助産師職能委員会として初めて開催しました。日本看護協会助産師職能副委員長 佐山理絵氏より基調講演をいただきました。母子のための地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組みを構築し、地域の妊産褥婦へ助産師の専門的知識技術を提供するため、県内の分娩取り扱い施設の産科病棟看護管理者18名が集い、情報共有や活発な意見交換が行なわれました。近隣の施設でも情報を得る事ができない現状において、各々の困りごとや悩みごとが共有でき有意義な交流会となりました。

次年度は、産科管理者交流会の継続と新人助産師交流会を予定しています。今後も助産師の能力向上と県内のアドバンス助産師が一人でも多く誕生し、主体的に役割発揮できるような専門的な知識技術が取得できる交流会を企画して参ります。



産科看護管理者交流会 ▲

看護師職能委員会I（病院領域）

委員長 中澤 範子

令和4年度の看護師職能委員会Iは、令和3年度と同じメンバー看護師7名の委員で活動しています。今年度の基本方針を「地域包括ケアの重要性が高まる中で、変化していく病院領域の看護師に求められる役割を理解し、地域住民の健康、生活を支援する活動に繋げる」としました。委員会企画の研修は、COVID-19感染の影響を最小限に抑えるために、全てオンラインでの企画としました。

令和4年度から新たに外来看護師を対象に、外来に求められる看護の専門性と役割を認識し、患者のニーズに応じた地域での生活を支えるための外来看護の専門性と役割について学ぶことを目的とした「外来看護師研修会」を実施しました。外来看護師が地域の社会情勢を知ること、外来患者・家族がどのようなことを求めているのか、入院時から在宅まで継続して関わること、それらの必要性を学ぶことができました。さらに、これからの外来看護師としての課題を見つけ、実践につなげることができました。令和4年度はオンラインでの研修会でしたが、研修生同志でのグループワークでお互いの情報交換、実践報告はとても重要であるため、次年度は参集で開催したいと思いました。令和5年度も外来看護師を対象にその役割を理解し実践に繋がられる研修会を計画していきます。

准看護師進学支援として、看護師を目指したいと進学を決意してもらえよう、養成校の紹介だけではなく、研修内容を再検討していきたいと思っています。

令和5年度は「その人に適切な看護を切れ目なく提供するために情報共有し、協働できる関係を構築できる」ことを目的として、看護師職能委員会IとIIで合同研修会を企画していきます。同じ看護師でも働く領域が異なると問題点や課題等にどのような違いがあるか、共通して捉える必要性を見出させる合同研修会を目指したいと思っています。

今後も、施設・在宅領域の看護師および保健師・助産師と一緒に活動して、多角的に課題と向き合っていきたいと思っています。



三職能合同研修会の様子 ▲

看護師職能委員会II（施設・在宅領域）

委員長 戸田 美也子

看護師職能委員会II（施設・在宅領域）は、高齢者施設・訪問看護ステーション・看護大学・クリニック等に所属する7名のメンバーでやりがいを持って活動しています。このような様々な立場で仕事をしている委員の幅広い意見を反映出来ることも、この委員会の特徴です。

令和5年度の委員会活動の目標の一つ目は、地域包括ケアシステムの中でその人らしく“生きるを支える”看護職の育成。二つ目は、施設・在宅における看護師同士の更なる情報交換、連携を推進していくとしました。その目標に向かってコロナ禍ではありますが、3回の研修中1回は看護師職能Iとの合同研修を予定するとともに、各研修も「集合」とし「顔の見える関係作り」で参加者同士が交流し情報交換する機会を含めた内容を予定しています。

また、令和4年度の研修参加者は、看護師職能II以外の方（病院領域）が多いことが分かりました。次年度は、看護師職能IIの領域で働く看護職員のニーズをしっかりと把握したうえで、今この領域で求められている知識や技術が身に付くよう、魅力的な研修を企画していきたいと思っています。そして、クリニックで働く看護職員の現状を把握することで、研修の確実な周知と、看護協会への未入会者の入会に繋がっていただけることを願っています。「三職能合同交流会」の開催も計画しており、引き続き保健師・助産師・看護師が切れ目なく連携・協働できるように各職能委員と協力していきたいと思っています。



「もしバナゲーム」の様子 ▲



看護職員研修会の様子 ▲

人の一生を支える看護職

看護職の仕事は傷病者や妊産褥婦の療養上の世話をしたり、診療の補助を行うことですが、病院や診療所だけでなく、訪問看護ステーションや福祉関連施設・企業・行政などの活躍の場は広がり、看護職に対する期待も大きくなっています。そこで、県内の様々な場所で働く看護職を紹介します。



富士宮市北部
地域包括支援センター
加納 ひろ子

人生の役割を共有できる相談を目指して

私は45歳の時に、病院勤務から介護施設看護、ケアマネジャーを経て地域包括支援センターに看護職として勤務しています。主任介護支援専門員と社会福祉士2名の4名で活動しています。包括支援センターの業務は地域の高齢者のあらゆる課題への相談業務です。認知症介護・家族関係問題・高齢者の虐待・成年後見など、病院では対応することのなかった問題に関わります。どの事例についても、いままでの人生をうかがい大切にしていること、今できる

健康管理は何かを共有できるようにと思っています。コロナ禍の現在、ターミナル期を家族と在宅で過ごしたい相談が多く、人生の最期をどのようにしたいか「人生会議」について、地域の方々と一緒に考える機会をいただいています。病院勤務・デイサービス・ケアマネジャーでの経験が、今自分の糧になっていることを自覚しています。相談業務の中で、看護師として一期一会を大切に真摯に最後まで関わっていきたいと思っています。



静岡市
子ども未来局児童相談所
佐藤 淳子

保健師ならではの強み

まだ介護保険制度もなかった高校時代、祖母の介護問題に疲弊する母の姿を見て、地域で困っている人の役に立ちたいと思ったことがきっかけで保健師になりました。現在は児童相談所に所属し2年目になります。児童相談所というと虐待対応のイメージが強いですが、虐待以外にも発達や育児・不行・不登校・障害等の子どもに係る様々な相談に対応しています。その中で保健師としてケースワーカーと連携し、子どもの

身体(外傷・発育状態・健康状態全般)や育児(健診・予防接種等含む)、性教育について対応することが多くあります。これら対応において医療機関をはじめ各種関係機関と連絡調整を行う時、過去の経験で培った知識や人脈がコーディネートの助けとなることも少なくありません。これはまさに保健師ならではの強みであると言えます。子どもの安心・安全を守るため、今後もこの強みを活かしながら児童相談所の業務に尽力していきたいと思っています。

その人らしく生きる



引佐赤十字病院
伊藤 宏子

当院は医療療養型の小規模病院です。私が入職した当時(平成元年)は、一般病院として手術や検査を行っていましたが、時代とともに病院の機能も変容してきました。医療療養型病院とは、主な治療が終了された方が在宅療養へ移行するまでの期間、もしくは施設へ入所するまでの期間、長期療養を続けられる方にご利用いただく病院です。在宅療養を希望される患者様には、主治医・担当看護師・ご家族様・ケアマネジャー・在宅療養に関係する方々とのカンファレンスを開催し、その患者様にとって一番良い療養環境について話し合いを重ねます。

施設入所を希望する患者様・ご家族様には、相談員が患者様の状態に合わせ、それぞれの施設の特徴を紹介させていただき、患者様にとって一番暮らしやすい施設を選んでいただいています。長期療養を続けられる患者様にとっては、「その人らしく」入院生活を安心して送っていただけるよう看護・介護に努めています。近年、ACP(自分の意思に沿ったケアを受け、最期まで自分らしく生きる)という言葉をよく耳にします。患者様の「その人らしく生きる」とは何かを考えつつ、今後も看護師として関わっていこうと思います。

第11回静岡県看護学会 テーマ「語り合おう看護の今・未来」

教育研修部 中村 さつき

2023年1月14日に「語り合おう看護の今・未来」をテーマに、第11回静岡県看護学会を開催しました。今年度もハイブリッド形式で行い、オンライン参加者76名を含む248名の看護職の皆様にご参加いただきました。

大阪公立大学大学院看護学研究科准教授 紙野雪香氏の基調講演では、ナラティブについてお話していただき「看護を語ることの大切さを実感した」「看護の楽しさを発見できる期待や喜びを感じ、語り合っていこうと思った」などの感想を得て、今の時代にあった講演でした。

シンポジウムでは看護の楽しさについて、行政の保健師、新人看護師、高齢者施設に勤務する中堅看護師から、それぞれの立場で看護の魅力についてご発言いただきました。



紙野雪香氏 基調講演

6題の口演発表と2年ぶりに7題の示説発表を開催し「発表が刺激になり今後の看護に生かしたい」「新しい発見があった」などの感想が聞かれました。コロナ禍の中で研究に取り組む姿勢に敬意を表したいと思います。そしてコロナ禍だからこそ「語ること」「語られるもの」の重要性が再認識された学会となりました。

講師、シンポジスト、口演・示説発表者をはじめ、参加者の皆様、運営スタッフ等、本会の開催に関わったすべての皆様のご協力のもと、無事に学会を開催できたことに感謝申し上げます。

口演発表



示説発表



シンポジウム



令和5年4月・5月申込開始の研修紹介

No	研修名	申込期間
22・23	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	4/3(月)-14(金)
27	組織で取り組む医療安全 -心理的安全性が高いチーム作り-	4/1(土)-15(土)
34・35	看護研究の第一歩 -研究テーマの絞り込み-	4/1(土)-15(土)
50	新入会員研修(1日)	4/10(月)-20(木)
62	新人看護職員研修(多施設合同)	4/1(土)-15(土)
9	後輩育成に活かすコーチングスキル	5/1(月)-15(月)
10	「看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)」評価者育成研修	5/1(月)-15(月)
11・12・13	(JNA収録DVD研修)認知症高齢者の看護実践に必要な知識 3回	5/1(月)-15(月)
14	今、求められる外来看護	5/1(月)-15(月)
36・37	看護研究の基礎 -研究計画書にトライ-	5/1(月)-15(月)



日本看護協会より令和4年11月29日付で認定看護師教育機関として認定を受けました。
認定看護分野：感染管理
令和5年4月6日から第1期生の教育課程が、スタートします。
9月頃から第2期生の応募も始まる予定です。

令和4年度訪問看護師養成講習会(eラーニングと集合研修)で多くの学び

8月3日よりスタートした令和4年度訪問看護師養成講習会(eラーニングと4日間の集合研修)が令和5年1月18日の閉講式をもって無事終了することができました。新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、実技を交えての集合研修の開催について検討しました。今年度は、呼吸リハビリテーションと口腔ケアの実技を交えて開催することができました。研修生からは「実際、

上を向いての嚥下動作



自分の体を使って技術を学ぶことができ、訪問看護の現場で利用者さんへのケアに活かすことができた」と高い評価を頂きました。

そして、訪問看護を始めて間もない研修生同士が、お互いの不安な思いや悩みをグループワークで共有することで、訪問看護師としてのやりがいを見つけることができました。半年にわたる長期間研修でしたが、閉講式で受講生の一人一言を聞き、嬉しく思いました。

お互いに呼吸リハの練習



事業部 松井 順子

地域包括ケア推進事業として展開した静岡県看護協会 看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援事業6年間の活動報告書を発行

県内から発足した26団体(平成28年～令和3年)の活動経緯が掲載されています。

ネットワーク会議を立ち上げ、地区診断⇒課題の抽出⇒対応策の検討と実施・評価まで、看護職同士から多職種、様々な領域へ働きかけ築かれた成果が集約された生きたデータです。

「関係機関と繋がりにくい」「顔の見える関係作りの方法は？」等、お悩みの方に響く「連携」がキーワードとなっています。

書棚に納めずデスクに置き、いつでも手に取って今後の活動の参考にしてみてください。

代表者へ問い合わせれば、素敵なエピソードがあるかもしれません。

事業部 山田 愛子



お知らせ

住民参加を取り入れた団体の活動へ

「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援活動助成募集要項」を準備中

令和5年度より現在発足している26団体が対象です

詳細は、令和5年4月1日から、静岡県看護協会ホームページをご覧ください

ナースセンターだより

「静岡まるごと移住フェア」に参加しました



ナースセンターは9年前から「U・Iターン」の取り組みをスタートしました。

県外の大学に説明に伺ったり、静岡県主催の『静岡まるごと移住フェア』に参画しています。コロナ禍ではオンラインで相談を受けておりましたが、1月29日(日)会場は東京



交通会館にて久しぶりの対面による相談会に参加しました。

当日は5組10の方がブースにみえました。ご自身の移住計画を伺い、地域の医療・福祉施設情報を提供しました。静岡県は移住希望県全国第1位です。今後も移住希望される方に寄り添ってお仕事探しのお手伝いをしていきます。引き続きよろしくお願いします！

看護職離職時等届出制度について

看護師等の届出サイト

とどはるん

春は退職の多い季節です。
届出登録にご協力をお願いいたします。



ナースセンターでは届出登録をしていただくと就業していない方、求職中の方に連絡し、お仕事探しのお手伝いをしています。コロナ禍、ナースセンターからの連絡で、届出者の再就業が増加しました。

また、登録内容に入力不足のある方にも連絡しています。

お引越しをされる際は、ナースセンターへもご連絡をお願いいたします。

また、ナースセンターは全国組織です。他県へ転居される場合もご連絡をお願いいたします。



お知らせ

1 移動相談(予約不要)

県下16のハローワーク等に看護職の就業相談員が出向き、就業についてご支援します。お近くの会場にお出かけください。新年度から浜北は、浜北文化センター第4会議室です。相談時間・最新の情報は、ホームページで確認してください。沼津・静岡・浜松の相談時間は午後に変更になります。



ハローワーク	下田	伊東	三島	沼津	富士	御殿場	清水	静岡	焼津 (BiViキャン)	島田	掛川	磐田	浜松	浜北 (浜北文化センター)	細江	湖西 (新居地域センター)
4月		25日	25日	7日	11日		18日	12日	7日		3日		12日	21日		25日
5月	23日			8日	9日	23日		10日	12日	17日		16日	10日		23日	

2 令和5年度再就業研修予定

実施施設	実施期日	問合せ・申込先
静岡県看護協会	5月24日(水)・25日(木)・26日(金)	本 所 TEL 054-202-1761
聖隷研修センター	6月13日(火)・14日(水)・15日(木)	西部支所 TEL 053-454-4335
三島商工会議所	6月28日(水)・29日(木)・30日(金)	東部支所 TEL 055-920-2088

悩みは誰かに話しましょう

話した内容が他の人や職場に伝わることはありません。お気軽にご利用ください。

054-202-1780 / 新人専用の悩み相談 090-2183-8734

平日9:00~16:00

メールでも相談できます ▶ nayamishido@za.tnc.ne.jp

(公社)静岡県看護協会 静岡県ナースセンター

相談時間/9:00~16:00

本所のみ火~木曜日は18:00まで

本 所:TEL 054-202-1761 FAX 054-202-1762

東部支所:TEL 055-920-2088 FAX 055-928-5037

西部支所:TEL 053-454-4335 FAX 053-401-3510

下田相談所(毎週木曜日9:00~16:00):TEL 080-2650-0327

天竜相談所(毎週火曜日9:00~16:00):TEL 080-2650-0237

「令和5年度 災害支援ナース登録(個人登録)」 の手続きについて

申請資格のある方は、下記の期間で登録をお願いします。期間厳守!!

申請資格の詳細は、ホームページの

「災害看護」または「看護しずおかVol.5」をご参照ください

申請期間：令和5年4月1日(土)～5月1日(月)必着

登録認定期間：令和5年5月1日(月)～令和6年4月30日(火)(1年間)

*「災害支援ナース個人登録申請用紙」はホームページからダウンロードできます

問い合わせ先 総務部 054-202-1750



公益社団法人 静岡県看護協会

入会促進活動

動画作成中

「協会を知ろう! 活用しよう!」

協会長の話・協会の活動紹介等、
10～15分位です。4月入職者オリエン
テーションに是非ご活用ください。

動画は、3月末に看護協会ホームページ
に掲載します。



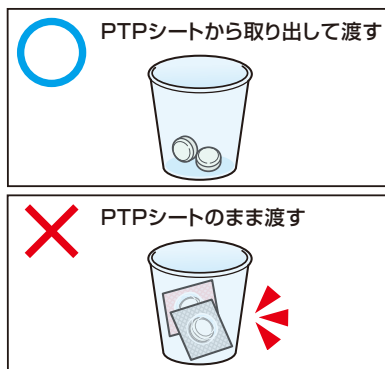
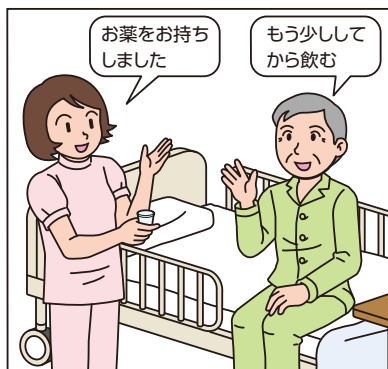
医療安全情報
2022年度 第6弾

医療安全推進のための取り組み

働き続けられる職場づくり推進委員会

PTPシートの誤飲

PTP(Press Through Package)シートは、薬剤をプラスチックやアルミ等で貼り合わせて包装したものです。薬剤を内服する際に、PTPシートから出すことなく服用した事例が報告されています。誤飲すると、喉や食道などを傷つけるおそれあり、内視鏡などで取り除く必要があります。



事例が発生した医療機関の取り組み

- ・切り離れたPTPシートは誤飲の危険性があることを院内で周知する。
- ・看護師は、薬剤をPTPシートから取り出して患者に渡す。

上記は一例です。自施設に合った取り組みを検討してください。

取り組みのポイント

- ・PTPシートの誤飲は、年齢や認知機能にかかわらず発生しています。

(総合評価部会)

参考 公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療安全情報No.177

★クイズに答えると、抽選で10名様にQUOカードが当たる!★



問題

三職能の委員は
合計何名ですか?

当選者

「Vol.5」のクイズの答え: 地域・在宅看護

鈴木 英津子様・なおちゃん様・とろろこんぶ様・
毛受 百合様・前田 幸代様・勝山 あゆみ様・
りょうちゃんママ様・青木 里沙子様・モンチ様・今井 佳代様

応募方法

葉書又はメールで①答え②氏名③所属④電話番号⑤〒⑥住所⑦看護しずおかの感想⑧看護協会へのご意見をお書きのうえ、下記宛にお送り下さい。正解者の中から、抽選で10名の方にQUOカード(1000円分)を差し上げます。当選者は「Vol. 1」に掲載します(ペンネーム可)

■葉書の宛先

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25
静岡県看護協会総務部 看護しずおかクイズ係

■メールの宛先

kango@shizuoka-na.jp
又はQRコードから

応募締切日 4月21日(金)



読者の の 広場

看護学校のカリキュラムや
現状の問題がわかり、学生が実習
できる環境の確保につながれば
よいと思いました。

訪問看護職員の病院研修では、
どのように連携を図っていけば
よいかが明確になることがわかり
参考にしたいと感じています。



公益社団法人 静岡県看護協会

〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階
TEL.054-202-1750 / FAX.054-202-1751 編集責任者: 渡邊昌子

令和5年3月27日発行